

# AIDS UPDATE

No.63 2006.3.9

広島大学病院  
エイズ医療対策室

内線5581 (輸血部長室)

Internet: [www.aids-chushi.or.jp](http://www.aids-chushi.or.jp)

## 『よくわかるエイズ関連用語集Ver.4』

この用語集は厚生労働省エイズ研究班の「研究事業」のひとつとして作成し、関係の皆さまにお配りしています。エイズの領域は進歩と変化が早く、日頃からエイズのことを意識している私たちも迷子になることがあります。前のバージョンから5年も経ってしまい、「よくわかるエイズ関連用語集」がすっかり古くなりました(「まえがき」より)。

薬や治療法が日々新しく変化し、HIV感染者・AIDS患者さんが右肩上がりに増加するなかで、現在いちばん望まれるのは、新しい力、ケア提供者の育成です。様々な方を想定して作成していますが、特に詳しい治療や用語に馴染みのない方にもわかりやすいよう説明を工夫しています。

部内でご回覧のうえ、必要に応じてご利用いただきたいと思えます。内容についてのご意見、ご感想、または追加をご希望の場合は、下記エイズ医療対策室宛まで遠慮なくご連絡ください。

### 第1回 看護師のためのエイズ診療従事者研修 アドバンスト・コースに参加して 歯科 仁井谷善恵

「第一回看護師のためのエイズ診療従事者研修アドバンスト・コース」に見学参加させていただきました。二年前に参加させていただいた基本コースとは異なり、HIV/AIDS患者さん支援のための実践的な内容でした。具体的には、広島大学病院小児

科医師より「HIVの現状」、病棟産科・血液内科・手術室担当看護師より「病棟における看護師の役割」、輸血部の医師より「入院治療が必要なエイズ指標疾患の診断と治療」、他施設講師から「セクシヤリティ」や「予防行動、セーフターセックス」について講義を受けました。

そのなかで、「感染者にとって一般社会は差別があり厳しい状況であるが、ボランティアなどとの関わりにおいては手厚い保護を感じ、どちらも感染者を対等と扱っていないのでは。そして、感染者は自立して自分たちの意見を発する必要がある」と言われたのが心に強く残りました。また、持ち寄った事例について検討し、外来に通院されていた患者様が入院されたとき、またその逆の場合、統一した関わりができるようサマリーのやり取り等の必要性を確認しました。ロールプレイでは、患者様が話しやすい雰囲気づくり、会話における間の取り方など、皆さんが日常臨床でされている患者様に寄り添う姿勢が見受けられ、勉強になりました。

現在、歯科外来はHIV/AIDS患者様の診療を、小手術や易感染患者様の診療に対応できる個室で行っています。このたびの経験を生かし、患者様個々の状況に即したより良いケアを提供していきたいと思えます。最後に、このような機会を与えていただき有難うございました。

#### <ご意見募集>

ご意見やご希望がありましたらエイズ医療対策室(5351/5581)までお寄せ下さい。

[TAKATA, OE]

[nobotaka@hiroshima-u.ac.jp](mailto:nobotaka@hiroshima-u.ac.jp)